

元治記事

十八

和書門			
類	號	函	架
三	一	七	三
四	二	六	四
冊	八	六	冊

內閣文庫			
類	號	冊	函
和	三	一	八
書	四	八	冊
冊	四	一	函
架	冊	冊	冊

內閣文庫	
番號	和 31734
冊數	18 (18)
函號	151 19



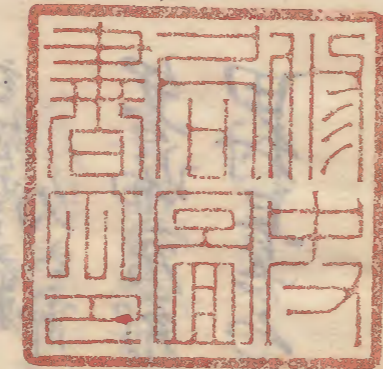
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





堤 法八

大言要助

加茂采女

小津津一解

阿久津一解

阿久津一解

高山七卷

寺門因左

宮根強一解

木内國一解

秋友三代左

飯村善三解

中庭中藏

加茂采女助

後一解

内山平左

柳下政補

言移左一解

二方舎人

行玉源次

塚本重四解

在左

安友三助

久之解

松左衛門

新倉次郎

後田孝之助

金沢助右衛門

石川次郎

重隆

朝倉源三郎
長吉

小栗友助

鈴木重吉

佐助

後了治吉

楠芳次郎

系勇

石川次郎

堀口一吉

高松源三郎
久吉

箕輪右衛門

田村長吉

政吉

相田健助

津村雄吉

龜山大助

佐米次郎

寺門善吉

小沼宗助

吉吉

石河新八

弥市

唐津俊吉

鈴木重吉

麻志村之助

天木重吉

朝倉源三

江崎善吉

平多平吉

里沢健助

外番部入

中津延助

安掛重十

桑原重吉

山口重八

山口重八

山口重八

山口重八

山口重八

安友繁助

飯田武吉

平北重吉

五平浦吉

國分重吉

古子井吉

一心吉

小坪重吉

小坪重吉

吉原源三

桑原重吉

宮本安吉

河津重吉

山口重八

山口重八

山口重八

山口重八

山口重八

松山敦助

宮澤重吉

梅川竹吉

平北重吉

萩原重吉

山口重八

山口重八

山口重八

山口重八

友吉

石上佐助

宮本文藏

池田龜助

伊豆久助

飯沼忠助

河沼數藏

榎本時藏

林由之助

大橋利藏

細谷信藏

内原利之助

山口新助

神田宗助

前木光助

氏助

心助

飯田且松

三番冠入

佐藤宗藏

山中法吉

寺門宗吉

新橋謙藏

小林玄助

辰江平

粘野源藏

高木徳藏

川邊玄藏

池田孝藏

野上法吉

伊藤玄藏

飯沼善藏

坂川宗光

右田宗藏

助右衛門

宮田銀光

信藏

高井伊藏

高田宗藏

綿貫武藏

小野馨五

津田信助

新橋玄藏

高橋友吉

小浜房助

浅井善十

高木浅次

何井三光

山崎貞助

高谷徳平

小左平

政平

石神源藏

政吉

細谷源助

篠田利助

石河伊三郎

新藏

久助

文助

右左衛門

理助

藤原宗吉

宮藤兼吉

坂孫藏

石神源藏

嶋善藏

中川新助 志木孝之助

四番藏病入卷前末死

越前柳田新助

五番新助

相山伊助 森谷新助

長瀬健次 安法新助

藤木新助 石川新助

石田秀之 今泉新助

長谷川新助 大井

小俣新助

三田新助

有田八郎

石井新助

吉田新助

平山新助

玉造新助

小西新助

為國新助

吉川新助

安房

志木新助

藤原新助

吉田新助

石川新助

石川新助

折山新助

佐木新助

石川新助

石川新助

加茂新助

加茂新助

石川新助

石川新助

堀江新助

為利新助

石川新助

石川新助

堀村新助

石川新助

石川新助

石川新助

伊藤新助

佐藤新助

石川新助

石川新助

石川新助

石川新助

石川新助

石川新助

石川新助

石川新助

石川新助

石川新助

石川新助

石川新助

小宮田平介	大久保周助	鈴木市亮	石田岩吉
早川吉彦	上田辰平	吉田清彦	小沼山三郎
皆川能松	鈴木辰平	金平吉彦	石月平介
小宮政吉	小宮能吉	小沼平介	久保田亮
小沼辰平	笠原辰平	高橋辰平	栗又新平
吉川吉彦	前沼雄平	石川吉彦	前沼徳助
内田建彦	中宿信平	萩利彦	小沼新介
坂良介	藤木清吉	辻利吉	七助
友吉	鈴木辰平	西吉	前沼七郎

石川吉彦	笠原辰平	傳七	内田辰彦
田定助	善介	石川辰七	熱吉
橋本辰平	利助	民亮	兼吉
長井辰平	勇亮		
七番藏人			
井田周福	柳下辰平	藤原造四郎	横山孝平
小牧平介	萩原造四郎	伊波辰平	栗又辰助
新沼辰平	金亮	勝川平介	吉田角助
福田辰助	石河辰助	石河辰助	大越小平

山本政平	大河定前	和貝休前	八幡寺
子孫漢平	小川清助	本村右助	森山右馬
若藤又平	玉来源助	石川右左	窪田源平
小林好太馬	伊津知助	尾信前	徳田四右
細形新平	小倉新吉	飯田勝次	中寺大左
河村夜比	周次	福名春助	小林歳助
交保金左	竹相	久八	神山芳之
堀井杉平	善七	吉前	伊助
永井小左			

八番藏入

武田伊次	口春馬	山岡兵部	武田金平
田丸左系	山岡源一前	加茂柳助	安原春左
飯田定平	小野斌男	井中多平	高桂長平
中務吉助	横田源一前	都賀春助	山内右馬
菊地右馬	本多純助	田中三介	渡戸久助
照原宗平	川井房平	高瀬秀助	相持徳助
小川元平	安藤秋平	高前善光	後吉
高前長平	櫻村定助	関清前	張本福前

横山角兵衛

古口良介

田村源吉

五冠新吉

信介

山口右助

熊吉

平介

岡雄之助

安村右介

小泉市兵衛

新介

柴山元介

安部六三郎

大内雄之助

原新助

榎井元介

榎村平吉

九番藏人

川原清兵衛

清田信吉

杉本昌兵衛

上野宗兵衛

中根平次

吉澤長兵衛

溝上吉兵衛

小田部重平

坂下清次

橋本吉七

佐木忠助

岩佐金八郎

勝隆助

四山大兵衛

山崎清助

平川政吉

杉本元兵衛

又介

吉兵衛

杉本

長谷川

栗飯元兵衛

後田平吉

田中元兵衛

山田文助

森市松

山田四郎

川原清兵衛

張鶴長兵衛

山崎清助

石井元兵衛

三嶋善七

石山元介

高橋一兵衛

関女七

飯沼元兵衛

藤沼

栗山清兵衛

堀三郎

長谷川新吉

加藤清兵衛

小嶋元兵衛

今野勇

坂部春之助

菅原清兵衛

石崎元兵衛

坂本元介

平山元兵衛

登戸佐島

武井惣吉

喜根後出願り

松左衛門蔵入

川尻鬼平

大久保儀介

谷村重吉

石川甚之助

小林勇次郎

古川重吉

大久保重吉

山本甚吉

弟次郎

刑部甚之助

山形半六

原右衛門

市毛孝介

跡上六三郎

佐木重元

加茂惣助

高杉元次郎

榎井屋次

田中重元

井上重次郎

昨日及之介

白木勝重

徳之助

法房

津島

伊吉郎

弟吉

弟七

津吉

清七

高橋重吉

下野康三郎

夜八郎

政八

勇介

平介

川部新助

廣本礼助

関本徳三郎

吉川中三郎

五光文彦

長谷川重助

山崎兵衛

石川重三郎

小林久三郎

木村重三郎

石川重八

小山田重三郎

村松重三郎

秋山又三郎

勇介

小栗重三郎

大保中七

小杉重三郎

坂部重助

長谷川重三郎

小橋新化

藤本东平

沼田文吉

藤本中平

白木礼翁

拾遺書入

小沼清徳

月国文吉

関源吉

細谷久助

木村久吉

小沼源吉

若杉相介

村田清助

沼田務吉

林吉

辻友吉

友保冬吉

遠友元吉

大山清吉

高野冬吉

吉本仙吉

神山勇

山田隆吉

法名源吉

久保金吉

八全

佐藤冬吉

酒本冬吉

榎本冬吉

山本又吉

岡善吉

右吉

新友冬吉

稻吉忠吉

松本清吉

野場源吉

川原冬吉

宮本清介

野中冬吉

福田冬吉

木村勇吉

茂来仙助

木村安吉

吉田清介

中野冬吉

岡本冬吉

石井冬助

宮本冬助

中野由吉

内田冬介

辻友冬吉

小泉又助

中村冬吉

福田冬吉

多田冬吉

吉本冬吉

沼田冬吉

小林冬雄

米川冬吉

大塚冬吉

友保冬吉

吉本冬吉

奥川冬平

滑川冬介

新本冬吉

拾番入

大岡源兵衛	尾田定吉	坂東兵衛	小谷右三郎
深谷勇兵衛	友林孝兵衛	吉田友兵衛	村上末五郎
川端安兵衛	内田友吉	吉山清兵衛	平林左兵衛
内原半三郎	加藤政介	小塚半三郎	岡根角兵衛
佐々木兵衛	山下勘吉	無月右兵衛	松木清兵衛
小林清兵衛	細川成兵衛	林友兵衛	木村兵衛
津久沢兵衛	小林清介	大川平八	森川長吉
市川重兵衛	千葉左兵衛	尾崎清十郎	日向正兵衛

橋本角兵衛	元木孝三介	森清五藏	尾田平吉
橋本兵衛	尾永清兵衛	崔田善兵衛	吉山新右郎
武友右兵衛	沼田清兵衛	唯正伊八	定吉
小俣半三介	山本孝七郎	西田政三郎	小泉平三郎
米川忠介	石川強兵衛	黒田八兵衛	木村友兵衛
榎田共吉	柏清三郎	吉柳富吉	田邊政三郎
代末久介	二本源介	鴨志角兵衛	北村清兵衛
松田善八			
服部由兵衛	津江清兵衛	清久八兵衛	蓮根利介

三田徳信	徳政左衛門	横田左衛門	中村清光
外田忠吉	塚田忠吉	森右衛門	全平
実光一衛	井坂貞光	成井左衛門	大伏重吉
堀田忠吉	本田忠吉	沼田忠光	赤坂清介
吉信	野上忠吉	芳沢助平	多右衛門
杉山清一	小野左衛門	徳吉	伊助
伊助	中七	栄吉	全代
黒沢利八	赤徳	初吉	八十八
源信	源信	定介	多田清吉

葉田清吉	辰吉	藤田清介	後部左介
大塚清一	辰吉	定吉	赤坂安吉
吉信	中七	市毛清七	福井利信
舟長清介	辰吉	山田一衛	飯沼清七
伊集院清一	辰吉	成徳大左	深谷四郎
松本清一	辰吉	菅谷安吉	山口清八
永田清一	辰吉	何坂清吉	大分大介
小栗清一	辰吉	崔田清一	金沢清介
木村清一	辰吉		

孫橋右介	中村史介	上田清介	後山平介
山崎定介	田上重吉	伊波清吉	源三郎
加藤末吉	星彦吉	法多末三郎	中村徳介
系田昌三郎	神谷清介	板橋徳三郎	飯塚清介
津井三郎	高木健吉	白須清吉	鈴木大八
後田辰吉	務三郎	龜田辰吉	橋井清吉
源五三郎	久介	石井政三郎	佐木左助
今井平助	龜田辰吉	榎山三三郎	岩倉辰三郎
中村親助	和田辰三郎	志城助	富永清助

惣三郎
 四山小六
 宇井金吉
 二田芳吉
 孫助
 四善忍入病人

朝倉三郎	高橋昌三郎	栗飯辰三郎	大谷包三郎
^士 石橋辰七	麻治辰三郎	^士 後藤子吉	鈴木清三郎
加藤左衛門	交保辰三郎	飯沼辰三郎	佐川捨三郎
中村良介	根上徳三郎	木内定三郎	木内清三郎
源金三郎	梅原清三郎	谷津清三郎	小林平三郎
長山良平	源清三郎	刑部清三郎	大井勇三郎

大井招壽	西東多介	中村安以齋	出雲守
中山兼五齋	小林貞吉	宗佐貞孫齋	芽根莊園
石川善吉	武石貞介	木村七齋	銀洞齋
大出大介	野口重吉	原 勇	秋北源齋
見門初八	原俊親齋	善福齋	少林好古齋
大越小市	小栗芳三介	惣 吉	辰介
小杉徳海	西丸 正徳齋	坪 孫藏	

以下三条常州平匪見
開録ヲ冬冬校

世壽存人新傳云加賀元正法也 一格候、歎歎、宗

戊午年以來後 天朝醜夷掃蕩、 勅使法下、在、
 贈大納言殿日夜憂勞方、存防衛、計策敷度、健白、
 以後、先遂、不、行、臣子、至、情、遺憾、無、世、而、嘗、中、納言、
 殿、身、去、亥、年、上、席、初、 公、迎、を、補、佐、一、攘、夷、に、成功、を、
 奏、祈、の、蒙、 勅、命、 天、皇、志、を、御、太、刀、迄、拜、受、是、
 歸、府、為、所、見、河、中、效、顯、驗、毎、日、存、有、志、者、一、日、
 焦、心、勞、思、是、死、九、醜、夷、を、凌、辱、せ、重、仇、御、回、體、を、五、在、
 之、存、込、を、交、死、其、力、義、を、成、教、舞、を、畏、立、を、和、苗、子、を、月、

中從 天朝 御製 願港 公邊 御布告
去歲 奸徒 市川 三右衛門 以 邪徒 說 張
一月 左 坊 志 各 日 中 合 願 內 續 前 日 各
受 右 奸 徒 等 兵 卒 等 指 向 祭 炮 每 日 每 接 接 戰 之
公 邊 之 法 人 數 連 願 下 之 報 後 亦 許 候 兵 之 動 所
深 恐 偽 徒 好 亂 軍 兵 存 意 每 日 勿 論 竟 有 志
者 同 循 志 之 兵 等 攘 夫 勅 後 亦 有 池 之 倫 言
如 許 大 義 分 厘 不 去 忍 臣 子 之 心 何 也 深 憂 念 侯
哀 情 右 奉 件 指 候 以 同 心 之 團 固 不 本 志 也

身 一 先 湊 前 之 避 之 退 去 政 事 亦 其 同 理 非 分 明 去 歲
微 志 貫 徹 故 亦 仕 之 願 亦 其 有 志 者 惟 矣 御 略
察 其 布 告 亦 年 歲 中 於 一 日 亦 有 候 御 祈 也
象 之 先 遺 憾 每 日 亦 其 也

元治元年子丑月

武田伊候

守判

加賀中納言極高
承原基七年版

右款款一稿候之由云云等々其又其書亦加賀一房也其
有通

新元安人教引平是道在登次先般筆重字欽欽也
耶亦忘上選仕交教忘家也社和何分當靜子插有乃
上志願書亦忘上志願書亦忘上志願書亦忘上志願書亦忘
之行遠下福康以後之事
公迎御人教下打信令為
天下之御大治也古托不古附深年受分付官藩軍門
向一曰降伏伏何年世儀了此也作立如何好字御節置
此係分極伏在年願古右極言上信字元公此死在古
候醉中忘不節也無在古與以之先好字欽欽也如好

成以事信實之其謂也此社事三首多在對

公道師後園也忘念之臨記大不坊敬舉勸古勸也無氣
今更宜委臨賊之汚者其在家以極多八子載之後死乃
遺憾之為而社者武門之極社所去藩於別也而
在百委也解辭歲中存年能去安死一說他中
立後無社以之

元治元年
十二月

加賀中納言極世内

永原基七郎殿

武田伊賀守
正生判

常州平運見聞錄二古八十二月十六日由惣人數七百人若州ノ寺ニ居候由尤加州警衛之由御座候

浪士行隊

奉勅

報國

天 天勇隊組

右中陣 立居中以

右中陣 押立居以

地 地勇隊組

仁 仁勇隊組

龍 龍勇隊組

傳聞正奇 虎 虎勇隊組

右一隊 人數百五十人 斗力 斗百人 追

外

正武隊 寄兵隊

但 世隊 博奕 抄杯 集居

右二隊 人數 數十 石分

中陣 中陣 山 荷 駄 殿

此書付ハ浪士所持之書ニハ朝令三冊ノ紀元ニ

覚

天文元子六月廿日中家牛初年大山番頭富田三保介右田系
内加後八神更白井右左馬殿田德和執政林系新左馬
右中陣大久保左馬右馬右馬右馬右馬右馬右馬右馬右馬
谷欽光三木左馬右馬右馬右馬右馬右馬右馬右馬右馬
口右中陣山南人同系右馬右馬右馬右馬右馬右馬右馬右馬
改諸士以下在守神職修護右馬右馬右馬右馬右馬右馬右馬
武子百人其外武館諸令之男子武百人其合之字七百人

此府清一攘夷の儀存志願あり如蒙任公運中不金招戸
新富之為述 公運より一切出府目上志不入格右隊等
西へ八月十日山河法之上標進音中八月十日方より七月
末迄取扱 公運より河法に待居る不敵方
隔烈を存存及出格の儀何事も結城守の儀
長に之を俗に好相と云ふ味方先方等と天物と
中より五月十日の家元朝は宗海と解法及長書市門
三危島に居る家中より男或は善信に結城の儀
以却一昔人斗在等より旗本若大右様より講事

何件と巡し攘夷の儀存志願あり如蒙任公運中不金招戸
新富之為述 公運より一切出府目上志不入格右隊等
西へ八月十日山河法之上標進音中八月十日方より七月
末迄取扱 公運より河法に待居る不敵方
隔烈を存存及出格の儀何事も結城守の儀
長に之を俗に好相と云ふ味方先方等と天物と
中より五月十日の家元朝は宗海と解法及長書市門
三危島に居る家中より男或は善信に結城の儀
以却一昔人斗在等より旗本若大右様より講事

西海向山 御付兵下り途中小橋野より葉木切倒し長岡
直野燈拂ひし上御城下近き所右首代大抱當を
持人教指向日度大獲り無余儀也員代下下知を以
打合六七人鎗を寄留せ給時近き二三日内是
次北陣に法中

[Faint bleed-through text from the reverse side]

世日記浪士山岡兵部記

子十月廿一日晴天常川中後高朝合戦立山榮左大官源右
言少地獄之人殺り

日向冒晴天山形中官社如一戦子及之人敵或生捕首切捨至
大陣高天朝倉舟上之好民此邊急榮作言畑尾山古子其
日向言來倚法古鳥打死

日向言朝より向陣大決作言少地獄大子好民追拂大子通り
北官之陣より社侍多人無大合戦時一人無敗埃大合戦又ハ
敗埃即社大子二日滞り

日六日晴天快く見張る

日九日晴天月居川山に夜更に防敵泊り廿日月居川に
久居系傳十太家来を夜に一子家来古を焼退す

日九日晴天月居川防敵武田至馬川山に追拂泊り去須
野雲居古願を編み

日九日晴天月居川に為子口人爲井多人付死北船鳴り
此立上り一里下り二里里村相傳り里村勢と夜合戦敗軍級北
味方より負入りり廿夜野陣

十月一日晴天九月越野初候に里村相傳り砲撃を爲す

前通吉川上村泊り且野村と陣あり應接す通り廿夜朝越野

日二日晴天五兵糧越川村泊り商人高を領系に在見

日三日晴天五兵糧其の陣に應接す通り鍋掛銀堀両篇に

泊り津村泊り夜八時分通り陣口相

日四日晴天言久村を飯口知子泊り廿朝に里村相傳り人歩

大勢集居夜通行滑川後より

日五日晴天孝徳村と通り五兵糧在上村泊り夜八時以降り

此立八重田山田に夜中休り林泊り廿朝に上り一里下り半里の陣あり

日六日少雨降大倉村滑川を渡りり里村泊り麻呂泊り

日七廿四頃... 天... 院... 日光... 大... 拂... 切... 靡... 子... 夜... 時...
云... 金... 儲... 庫... 在... 稀... 時...

日八日... 天... 例... 警... 使... 中... 金... 儲... 倉... 五... 五... 大... 極... 時...

日九日... 朝... 雨... 降... 七... 國... 此... 五... 兵... 糧... 倉... 五... 倉... 田... 津... 津... 倉...
大... 通... 河...

大... 通... 河...

日十日... 天... 五... 兵... 糧... 倉... 上... 前... 地... 上... 入... 小... 水... 中... 倉... 田... 倉... 曾... 道... 之...

田... 倉... 田... 大... 田... 河...

日十一日... 天... 大... 田... 早... 雨... 滯... 留... 時... 甚...

日十二日... 雨... 停... 日... 前... 滯... 留... 水... 濟... 手... 曝... 日... 休... 日... 平... 撤... 後... 越... 國... 郡...

陣... 必... 應... 接... 之... 通... 行... 世... 夜... 七... 時... 以... 地... 陣... 口... 極...

日十三日... 天... 在... 陸... 大... 田... 五... 日... 甚... 宜... 利... 根... 川... 後... 日... 世... 新... 吉... 應... 接... 之...

成... 押... 通... 日... 招... 欠... 後... 日... 捕... 五... 日... 四... 日... 以... 方... 不... 店... 倉... 倉... 甚... 輕... 嚴...

休... 日... 不... 店... 倉... 倉... 甚... 輕... 嚴...

日十四日... 天... 上... 別... 吉... 井... 泊... 世... 所... 陣... 必... 日... 福... 國... 河... 世... 所... 陣... 必... 甚...

應... 接... 之... 通... 行... 一... 倉... 中... 嚴...

日十五日... 天... 市... 官... 倉... 甚... 甚... 凍... 飲... 不... 仁... 田... 河... 世... 所... 進... 充... 某... 或... 人...

出... 還...

日十六日... 天... 世... 日... 輕... 公... 梅... 沃... 日... 甚... 如... 上... 別... 倉... 淺... 勢... 三... 百... 人... 斗...

家来必死、截身方大勝利、家子亦四人、打江生、大勢、大森、
結死、打死、外、五人、打死、大砲、四挺、得、梅、決、氏、家、拾、第、
家子、三、放、火、元、宿、関、所、鐵、砲、一、百、濟、勢、千、百、人、合、戦、敗、軍、
敗、走、再、死、五、十、人、懐、我、人、數、不、知、大、砲、十、下、小、砲、禁、令、取、渡、刀、之、類、
合、取、生、捕、七、人、其、知、多、皆、切、殺、中、身、元、宿、河、世、宿、冥、更、り、奪、り、昇、
り、東、より、行

同十七日、陸天信別平塚宿河、世宿内山、疎り、上下、宿、宿、冠、所、
信、氏、好、氏、橋、一、所、宿、一、所、内、山、河、信、別、中、宿、在、世、所、り、
新舟、作、通、行

同十八日、晴天、野、決、宿、至、中、山、道、上、此、日、月、宿、河、八、幡、中、合、望、
月、河、世、宿、好、澤、宿、多、八、加、り、先、然、生、捕、村、尾、三、打、首、河、
中、山、合、望

同十九日、四、時、り、大、雨、長、宿、至、和、田、宿、河、世、夜、宿、井、舊、右、所、
此、森

同廿日、晴天、和、田、宿、言、飯、宿、相、本、合、戦、必、死、身、方、勝、利、大、砲、
合、葉、取、山、得、身、方、四、五、人、再、死、り、家、兵、隊、三、飯、宿、後、進、行、
世、宿、飯、宿、相、本、言、放、火、下、飯、宿、言、夜、以、入、世、知、森、人、不、知、
和、田、宿、上、三、里、八、下、り、中、上、三、葉、宿、り、世、葉、宿、飯、宿、後、進、行、

及より一里下ト接待奉出たり是焼拂し又中下り走り居居
指居り木ヲ及勳ニ多シ是ヨリ下り小村あり其村ニ大砲是場
林面指居居し有共如飯務聚言遠三六名ノ軍勢大
合戦あり言遠勢敗軍大砲守り小砲務集ニ歎令取敢不知。
ヨリ。戦ノ陣大打立言遠勢大敗人打死三勢合テ千五百人程
打死十五人本生捕之人首切捨ん味方多毛討死四十八人傷我人
三中人其時分五取敢不知五葉木。焼捨碓取も焼捨し飯務
泊り野陣日記 ○○
曰亦一日晴天伊志部至上部泊り丘相泊り沼田城下應接シテ

後ノ及見
曰亦一日晴天飯沼是丘相泊り沼田城下應接シテ

曰亦四日晴天飯田城下應接テ通テ飯田より至飯田沼田
清内泊り世如より一里居り信別地越上より下り中津守世夜
能津淡田里田原田作平出奔

曰亦五日晴天沼場より一里行返ニ同道入松紐可作より中
上清内地下信田地飯田より出居冥所應接テ通テ沼田世不
より木屑作見紙

日六日四ツ比より初降木名妻翁と記是より多量降り
世所名雲と逢り大井河中仙乃不降通
日七日降天中津川至世所慷慨より味増付餅セヨク記
大井河御嶽河十三降通岩名親言糸信法久
日八日降天大冬子細多子世所十三降より龍雲相より空降
河右田本飯世所右田川後之空降より二河通横道濃列川
越後より

日九日降天大田川舟渡り慷慨家より岩名親言糸信法久
川向大山足より岩名十丁才之稻沼河天王河一丁才の本庄

大和寺の陣記

同廿日天降量物泥より二里北行間谷入麻系に降り安久
多具村舟渡り陣記より高木村三丁才村雨為り

十一月一日朝より大雨至飯分井落名世所陣記より御接
流海分河世所園田形登陣記より下通

同日夕景谷波より十丁才前通り岩名親言糸信法久
人系金原村日向村古倉より世所家数少く是れ陣口松

同日降天三里北行永年寺より

日四日降天野之越二里灰是降四里秋生河り秋生村大降

日此張世通迎村、放火舟一人、家名居、勢河、世有
之、世有、越、久、二、月、流、り、世、日、り、雪、降、出、久

同五日朝、大雪、世有、谷道、之本、戸、黒、戸、本、五、村、之、家、數、百
之、新、村、之、村、大、野、之、放、火、中、流、河、更、家、名、一、冠、或、橋
の、下、有、流、也

同六日朝、雪降、世有、二里、筈、又、降、り、勢、河、之、越、方、亦、本
河、

同七日晴、天七、頃、り、雪降、睨、田、村、法、橋、村、一、本、降、り、本
村、河、法、橋、寺、河、二、里、降、を、越、久

同八日初、雪降、世有、代、谷、り、谷、口、一、里、中、降、り、世、迎、之、正、武、隊
進、遅、く、東、又、河、

同九日折、雨降、世有、降、り、橋、谷、仙、本、朱、何、谷、迄、今、降、高、此
分、降、根、兵、七、百、人、斗、河、河、中、に、行、後、言、宿、人、の、名、今、降、河、

同十日雪降、正武隊、世有、追、く、大、勢、後、進、り、日、所、に、滞、留、也

同十一日、言、世、冥、所、有、亦、日、降、り、世、受、に、加、易、家、り、大、勢
出、降、隊、士、永、原、甚、七、降、應、接、成、新、保、河、世、有、之、降、を、越

絶、頂、越、前、番、可、三、形、り、世、可、言、加、別、勢、に、對、陣、而、會、接、見
加、別、り、言、都、一、橋、に、法、橋、古、殿、り、則、一、橋、君、り、加、別、家、に

出陣之成新保為之滯留是日

同十三日加加彦志上應接之出陣滯留

同十三日滯留

同十四日滯留 廿日加加彦志一橋君上里書^呈送

同十五日滯留

同十六日滯留

同十七日滯留 夜天荒步三隊加加陣中無原上引移

同十八日滯留

同十九日滯留

同廿日引引加加承原應接來

同廿一日曇加加應接之二少隊上通人數十人

同廿二日朝照天加加武器引揚軍門五日出陣

同廿三日朝雪停夜中大雨

同廿四日雪降大風七頃止夕方^上些立敷坂本筋^上

同廿五日

同廿六日朝雪停

同廿七日四頃晴

同廿八日晴天出陣宿防泊陸臺前免

表右軍

川瀬吉藏

善後使

四ノ新助

善後使

岸信光

町同心

小林忠雄

右忠雄事七年若武別於横濱買入全數寄付日及自勝

川上治吉

内發精一

右亦五人

黒川道江

大書方高輝

山形半六

善後使方高輝

木城之丞

信人

栗原平

高野長五郎

前橋徳助

先年此及隱居耕雲秋家先主勤一此年中納言殿上系之
帝依持一伊坂方之改昨年丑月申隱居信長弟分親務友
國元分下玉許内親町大炊政中納言名成之出張身
名信伴小倉并為進出逐城中入事心得言大炊政押之
吉田村述系小倉先子言戰爭之松子炮攻其使以舟大炊政
城下召吉田以拜上毫り自分多日新第王院正相居一泊
是下邊清言富丹山吏今邊上入八月末初地改治中子以言
神樂殿下入日新大小炮攻其舟又階上送り被山毫り
其後大炊政和信長結為出張身自是下有兵陣系之

二月二日 水野良輔 吟味
山本長治 解

安友繁捕

多村右三郎

相与教深人

相与教深人

野別田男 神 山勇

常利源 田 倚桂 亮

大和田外記

兼井三郎

元禄年大炊家来

横田弥四郎

都筑原三助

横井浪三助

木村雄八

青山新左郎

沼田亮亮

友田伸勢

浪边矩三助

外記牙

大和田秀以解

浪边直治解

次田三三助

玉造清三郎

岩間文以解

白洲伊平左

小野馨三進

大内雄三助

橋山三三助

元禄年大炊家来

横田弥四郎

都筑原三助

横井浪三助

木村雄八

青山新左郎

沼田亮亮

友田伸勢

浪边矩三助

近友中藏

赤田金治郎

前木亮三助

朝倉三四郎

浪北招四郎

市毛幸三助

櫻村平左郎

浪口六三郎

小笠原五郎

水戸松平七郎
水戸松平八郎
水戸松平九郎
水戸松平十郎
水戸松平十一郎
水戸松平十二郎
水戸松平十三郎
水戸松平十四郎
水戸松平十五郎
水戸松平十六郎
水戸松平十七郎
水戸松平十八郎
水戸松平十九郎
水戸松平二十郎

水戸松平七郎
水戸松平八郎
水戸松平九郎
水戸松平十郎
水戸松平十一郎
水戸松平十二郎
水戸松平十三郎
水戸松平十四郎
水戸松平十五郎
水戸松平十六郎
水戸松平十七郎
水戸松平十八郎
水戸松平十九郎
水戸松平二十郎

三上

牙伏助次解

文庫後司

善後元二解

少時後

木村四三解

招浦由小善後元二解
大秋ノ身固

下野兼三解

萩谷金次解

伊勢府屬

言津秀三助

加茂源三助

香目格

横山榮三解

水戸大秋ノ身固

大沼彰助

寄合

秋山文三解

小善後位

杉山元一解

寄合

言橋市三解

小善後位

小泉常三解

目見ノ上善後位

関内徳三解

安後元三解

海代寺力

阿久津三解

野村格本戸田氏
善後元二解

大橋利三解

善後元二解

二方善人

三上

大越小市

楠常三解

什女役

中村親三助

水戸府人

成井元九解

高司共十解

篠原造四解

林由三助

唐津俊三解

金沢元三解

玉造村格本戸田氏

赤坂清三解

萩原造四解

水戸府人

大津雄三解

野中徳三解

麻橋元三解

多門元三解

鈴木元三解

言橋元三解

飯村元三解

水戸府人
中善後元二解
水戸府人

津久井雄三郎事

津村雄三郎

安友三之助

佐守殿系文六郎將

梅川外四郎

平光重三郎

出唐名賢會文六郎將

川原重三郎

水戸招平系女家系

林下啓助

元禄本那屋三郎位

羽黒冬三助

水戸馬場後政五郎三男高田藩侍

宮本文三郎

水戸上町酒造高田家

堤清八

高田徳三郎

元治二年乙丑二月四日

申渡

元水戸殿

書院番頭

武田彦吉父彦吉

武田伊兵衛

武田彦吉男

右 武田伊兵衛次男

武田財介

先子考

長谷川道之助

使者代役

村傳次郎

半之目付

平吉

井田因幡

海吉

朝倉源正

素祐

川瀬雪丸

其方在彼之助... 付也及松栗大炊付源... 其被之金袖... 乃市川之古... 在居之打物... 集氏中付子... 口人阿系... 中歌對...

元龜元年... 長谷川道之助... 長谷川道之助

其方汝乃福夫馬車田丸九年信賴也
口人若別飛信山最去山口敏也出馬跡古長重立
隨從又市川三右馬守中丞下總守金氣
兵外初上集也九京一日山村子並其子殿村子江
南對望一上口人紅中軍信也前幕行四
農氏之言也古町死罪中付也

山善信也
四分新古解
諸代寺力
百姓

其方汝市川三右馬守外之其殿唐居也其不
候也武田伊賀外之其其為款新下總回之金
集也汝之分回之結撫也之松平大炊出張之
弟也三右馬守存之新也之夏若也之
朝也常別那阿濟其外新也群集河村也

赤川集人
赤松誠進
常別上村
百姓
前信使之助

敵對其二軍裝を新し暴行四々古口死家分多

町奉行
稲吉

田九虎

其方後常別飛波心外集止塔大為結縛在城
あり却々後上加のそ心以魁首之成立を暴行
農民を晒し又々元日藩市川三左衛門存念は初
主家之為助不臣候に存三毎御為無之と古事件
存日回那阿漢を集を住立。武田伊賀と外之若花

一白之古成御討子花至家上敵對を上重立平多人敵討
纏軍装を新し横江を古口の斬鬼中付るもの

水戸殿

例用人
健江舟分

後田不四事

小野陣男

新番細額

林三年将

床机号

須賀取之進事

伊友健冠

根木慎平事
岸新藏
目甘同心
畑弥平事
小栗弥市
町同心
川上清太郎

大番組
三橋守之丞
山形羊六

常別安倉郡

仁士
川口百吉守

叶中善次郎

四里村

大宮社神主

多氣平山城守

澁川平右衛門

大官村
百姓
田原昇一郎

其方在儀攘夷之志念を貫公
公邊能く因循し
所新置振一己に過激より
右所廟算を立秘法を
曰志を怒安之教常別氣波山に外所
に在集在暴行
又七市川三古島市に在志を行
るる象又々領を不爲
存るも毎朝儀を無くとも
右事件存日四那阿漢水に
群集民在武田伊吹に外
其九一同一に成面所討子
并之家に敵討に於て殊
軍装を前横行四

動亂多 在口口死難付

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)

(Red vertical text on the left side of the page)

呼愚呼暴何亦枕夜息誓挑豺狼公許待定圖
棺後喚做大狂是不狂

授翁孫

英房

皮膚一仇垢投指與嗽沐浴動起年悲歌振臂
聲慷慨狡襟淚易消夢遠故山心薄霧魂飛揚
次余漸燈真心尚未消磨五夜半論象到曉天

同上

勃々忠魂覆六洲長江天險又何愁一朝驅馬

陰山下 不破樓蘭死不休

川辺信藏

原期萬死亦何悲 只恨神兵未攘夷 魂魄不歸
天与地七生此世獲王基

國分新太郎

とやまふ敵死もみむ言心を死地の波よの人をよき由り 英房
射の花を風子散てみたり 風子逢ふ枝あらなるを 吾も重泰
曲居の左刀の多風子散ぬをよき由り 後よをらん 源知新

志の吹原に風子散花をいささか散て思きらむる 信房

志の吹原に風子散花をいささか散て思きらむる 信房

國はたかきたり事とて 志武志の今や昔の人と 一死 福田の助

武士は志を中は先なる様より 志もあそ 總ん 英房

己志を中と思し 志の花志の志す 志の志 志の志 志の志

志の志を中と思し 志の花志の志す 志の志 志の志 志の志

何の年五かゝるこの中我ら志を志す 志の志 志の志 志の志

春を志す 志の志 志の志 志の志 志の志 志の志 志の志

志の志 志の志 志の志 志の志 志の志 志の志 志の志

梅の花風をさかす敷更も匂いよの神のありて
玉より神の御國のたよりおくるよの心誠なる
たよりを何ふの里に志すもあはれむ日本魂
皇國の御為めは終くなきよの心誠なる日本魂
天恩神の御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る
里に志すよの御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る

回りの御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る

御國の御の下に志すよの心誠なる

たより神の御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る

兼てより思ひはたしし志心は孝大君は孝なる御を
東路をゆく日敷をぬきよの御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る
百歳の大人は孝なる御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る
南まきよの御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る
志すよの御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る
よの御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る
香積の大和心は孝なる御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る
叔母は我よりよの御を奉るはあはれ大慈悲の御を奉る

小理

馬原

沼田

系

川上

中村

角谷の春

雪化上人ぬきも春雨小鶯の羽をぬき一姿成
川上

か雪をまきかんとはく侍こしきまじり多き谷の春

陣らふも木の葉もたるとるも是かきくも通る里の聖人
中村

迎春

雪らぬやの春はゆき多きもはるも春ははる

大君の國やまるとして新らぬもたうか積り誠の公雪
系

山川の雪はぬきも多きもはるも春ははる

秋の海はぬきぬ思ふ世の中は原もぬきも春ははる

か雪は降り積るも雪はぬきぬるも春風を立し雪はぬきぬる

春の句

みかかしの池の氷も春をたて降ゆの葉も春風をたて

立春

何れもすし立春も春ははるもはるも春ははるも春ははる

秋の國の里は春ははるもはるも春ははるも春ははる
杉山

秋の國の里は春ははるもはるも春ははるも春ははる
川上

雪中松

重なる心をもたれぬ縁衣みよは浦しりし方よ

何ぞ重なる心をもたれぬ縁衣みよは浦しりし方よ

五春

何ぞ重なる心をもたれぬ縁衣みよは浦しりし方よ

春未だぬるまじやぬ重なる心をもたれぬ縁衣みよは浦しりし方よ

乙女子の神や夜とぬるまじやぬ重なる心をもたれぬ縁衣みよは浦しりし方よ

常別八講の郭り

常別八講の郭り

常別八講の郭り

名より康比さ浦山しりし方よ

八重垣の隣屋を多梅香の香ひしりし方よ

数珠の子角也

名より子角の山の子たしりし方よ

天目山早吹の春風は浦しりし方よ

捨小舟

捨小舟

捨小舟

捨小舟

月影清き作う海くとも其か為る事なきも秋中は清き川上
浮雲散らひたりと交信の天津島に及ぶ所なりと
あはれまじりしあはれしはあはれし事代も事代も日本魂
心づきまじりしあはれしはあはれし山崎の山崎の山崎の
はくしをたはしはるの北道ははくしをたはしはるの北道は
君のたはしはるの北道ははくしをたはしはるの北道は
玉の緒のたはしはるの北道ははくしをたはしはるの北道は
さかあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめあめ
分賜布鑑乃袖尔益良雄乃赤心緒留久結伏武 重寛

梅神の花は匂ひみかかきと我らの散る志は清きなり 武田勝安
河津もかたは清きなりと梅花今もはありの里に散るなり

其浪中内の他は浪中内の書存アリ字ス

戸田老根事んてん梅交易無理と書思ぬを世にあらうの
とく免とくくけり此の事述ひあつたりし昔をさるる
あんの遠慮も大なる世にあらう志は清きなりと書思ぬを
あつたりぬを思ふなりたいての世にあらう志は清きなりと
ありきと日本のはらつたりぬなり

